



岡田

学校教育目標

10年間を見通した確かな学力と
豊かな人間性の育成

目指す子ども

ふるさと加佐を愛し 夢 未来に向かって歩み続ける子ども
～笑顔で いきいき 自分から～

令和4年1月31日

舞鶴市立岡田小学校
学校だより No.12

<http://okada-es.maizuru.ed.jp>

災害から学ぶこと

冬休みとその後に積もった雪が運動場にたくさん残っています。歩いてみると、まだ25cmくらいの深さがあります。低学年の子なら入れそうなかまくらも作ってあり、かいた雪が山になったところは、いつの間にか滑り台になっています。子どもたちは、ほっぺを真っ赤にして、季節を楽しんでいます。

平成7年1月17日午前5時46分、淡路島北部を震源とする大きな地震（「阪神・淡路大震災」）が発生し、京阪神の広い範囲に甚大な被害をもたらしました。また、その後も、新潟県、熊本県、東北地方と相次いで想像を超える大きな地震が起こりました。いまだに行方不明の方もおられます。大切な家族や友達や仲間の命、生まれ育った家やふるさとを突然奪われた悲しみは決して癒えることはありません。亡くなられた方への哀悼とともに、私たちはこれらの大震災から学んだことを教訓として活かしていかなければならないと思います。



1月17日は「防災とボランティアの日」、1月15日から21日までが「防災とボランティア週間」とされています。本校では天候や行事の関係で1月25日（火）の休み時間に、地震からの火災による予告なし（担任の先生たちにも伝えていません）の避難訓練を避難経路が通れない状況を設定して行いました。地震発生時は揺れがおさまるまでその場で一時避難をし、その後放送による指示を聞いて、それぞれが安全な経路を考えて体育館前に避難しました。教師は残っている子どもがいらないか、各階・トイレを確認し最後に避難し、人数を確認します。先生がまだ避難できていない学年は、自分たちで人数の確認をしようとする姿も見られました。上級生が下級生に声をかけたり、ハンカチや手で口と鼻を覆ったり、頭を守ったりして、放送を入れてから2分47秒で全員が避難を完了しました。

地震はいつ、どこで、何をしている時に起こるかわかりません。保護者の皆様がそれぞれの地域でつながりをもっておられるのと同じように、学校でも子どもたち同士で声をかけ合ったり励まし合ったり、協力し合ったりといった「つながり」を大切にしようという気持ちを育てていきたいと思います。

防災の意識を持ち、「命を守るための行動をとる。」「どんな時でも助け合う。」「自分もまわりの人も大切にする。」、過去の震災から私たちが学ぶべきことがたくさんあります。

2月には6年生を送る会があります。6年生は卒業まであと35日となりました。一年間の振り返りや、新しい出発に向けての準備もしていきます。全校児童73名一人一人が、達成感と希望を持てるようなまとめをしつかりと行いたいと思います。

2月も保護者の皆様・地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

校長 野田 千鶴

教職員一同